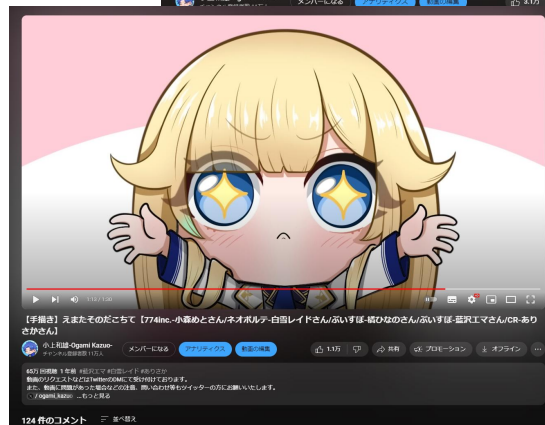


AIの好感度を爆上げる(?) イマドキのやり方

株式会社ディアープロダクション
吉瀬 紳剛

カワイイを作るゴツイ人です

- お前誰？
 - 株式会社ディアープロダクション
吉瀬 紳剛(きちせ しんご)
- 何をしてる人？
 - 動画制作会社をやっています
 - YouTubeに動画を投稿したり
絵を描いたりしてます
 - チャンネル登録者数12万人超
 - カワイイ絵が売り
 - 本人のカワイイ成分を絞って作っている
 - 今年2月の第1回Grand Canvasでも
登壇させていただきました
 - 「動画制作などのエンタメ領域へのAI適応」



会社紹介

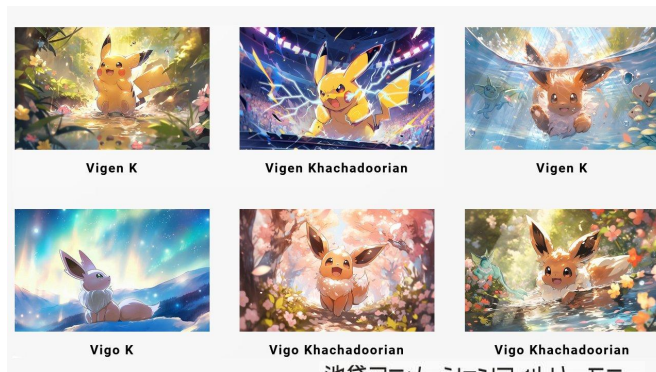
• D ディア-プロダクション

- 2022年09月設立, 2024年06月法人化
- 理念: コンテンツ制作で、親愛なるお客様の理想を現実に変える。
- 実績:
 - 法人向けIT教育系企業様の教材動画制作
 - チャンネル登録者数40万人のYouTuber様の動画制作
 - チャンネル登録者数30万人のYouTuber様の動画制作・チャンネル運営
 - 不動産事業様の組合向け活動報告動画制作
 - サステナブル農業支援企業様のPR動画制作・チャンネル運営
- その他の取り組み:
 - クリエイター向けLT会「創作屋の茶の間」を開催しクリエイティブ業界の活性化に貢献しています



AI、まだまだ不安？

- 社会が抱いているAIに対する不信感はいまだ根強い
- クリエイティブやコンテンツの世界で顕著
 - イラストコンテストで生成AI画像が一次審査を通過
 - 同一人物が名前を変えて大量のAIイラストを投稿
 - 貴重な選考枠を減らされたと参加者の不満が爆発
 - ポスターに生成AI画像を使用
 - 出演予定の歌手が出演を辞退
 - 主催が「生成AIに関する認識が甘かった」との声明を発表
- クリエイティブやコンテンツ以外にも特に責任の所在について不信感がある
 - 車の自動運転は誤動作をするんじゃないか
 - 医療のAI診察は誤った診断をするんじゃないか



@RacieBeepのXから引用

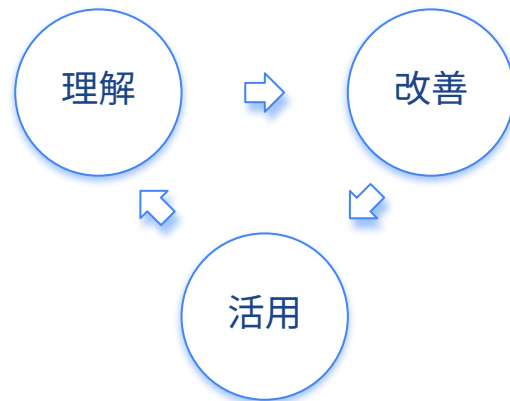
池袋アニメーションフィルハーモニー
第1回演奏会



© Ikebukuro Animation
Philharmonic

バディループを生み出そう

- 不信感を払拭して 好感度を上げるには「バディループ」が必要
 - ユーザーがAIを理解すればより良いフィードバックを得られる
 - フィードバックからAIプロダクトが改善されればより多くの人々がAIを活用する
 - AIを活用してみればユーザーのAIに対する理解がより深まる
- AIプロダクトの開発やテストのこだわりについて発信してもっと多くの人に「使ってみようかな」と思ってもらえればバディループの創成につながる
 - 「わるいAIじゃないよ」と発信する



©2017,2019 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/
SQUARE ENIX
©SUGIYAMA KOBO

動画でバディループを生み出すのがイマドキ？

- AI以外の分野では
動画を活用したバディループ創成の成功例がいくつかある
 - トヨタタイムズ
 - 5年間で投稿動画数674本, チャンネル登録者数44万人
 - 乗り心地を良くするための工夫や試験の様子などを紹介している
 - Nintendo 公式チャンネル
 - 11年間で投稿動画数3201本, チャンネル登録者数300万人
 - ゲームソフト開発のプロデューサーが制作の背景などを語っている
- 動画でプロダクトへのこだわりや様々な背景事情を紹介するのが効果的なようだ
 - 不信感を払拭して好感度を上げるには
文字よりも画像・画像よりも動画
 - 生産地(文字)よりも生産者表示(画像)、生産者表示よりも鉄腕DASH(動画)
 - インタビュー記事(文字・画像)よりもトヨタタイムズ/Nintendo公式ch.(動画)
- AI分野についても
動画を使うことで好感度を爆上げできる可能性が高い

アピールポイントの発信でバディループの醸成(まとめ)

- AI品質マネジメントイニシアティブの設立声明でも「発信」について触れられている
 - 「AIシステムの品質確保に取り組む企業だからこそ分かる課題や機会についての知見を集め、産業界の声として規制主体を含めた**社会に対して発信**していくことが望ましい。」
- 発信方法の1つとして動画が有効かもしれない
 - 動画を使ったこだわりポイントの「発信」で好感度の爆上げに成功している企業/分野がある
 - トヨタ(トヨタタイムズ)・任天堂(Nintendo 公式チャンネル)・etc.
 - AIプロダクトについても同様かもしれない
 - 学習データの権利問題を解決するために
数式で権利フリーの画像を作ってAIの学習を行っています
(c.f. 画像基盤モデルにより専門医に匹敵する膀胱内視鏡診断支援AIを開発 by 産総研)
 - → イラストレーターの個性を奪うようなわるいAIじゃないんだ
 - 街を丸ごと作って AI自動運転の実証実験をやっています (a.k.a Toyota Woven City)
 - → 誤動作をするようなこわいAIじゃないんだ
- 動画を使って「発信」すればバディループを生み出せる
 - 動画を活用すれば、AIプロダクトに対するユーザーの理解度を上げられる
 - 理解度が上がれば、より多くのフィードバックが集められる
 - フィードバックが集まれば、より品質の高いAIプロダクトが作れる